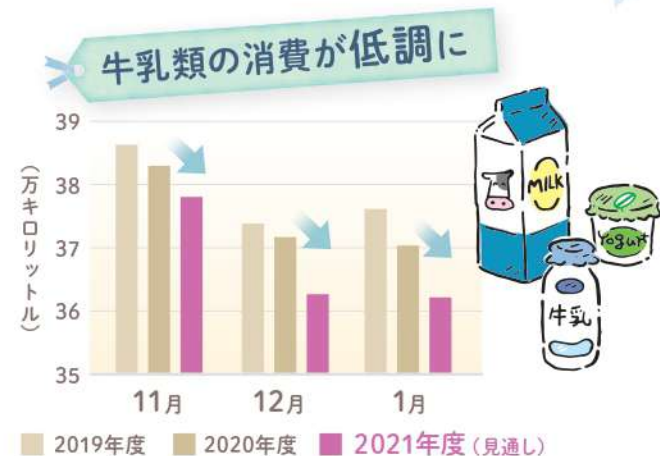


コロナの影響で、酪農乳業に 起きていること

牛乳類の消費が低調

巣ごもり需要の反動から、
2021年度は低調になっています。

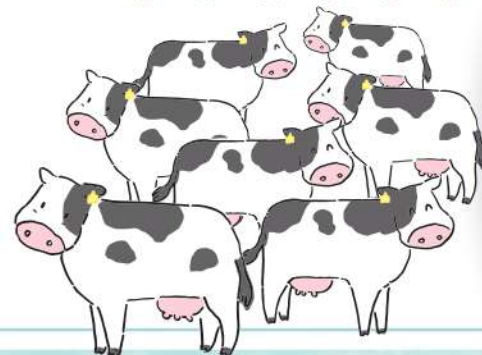
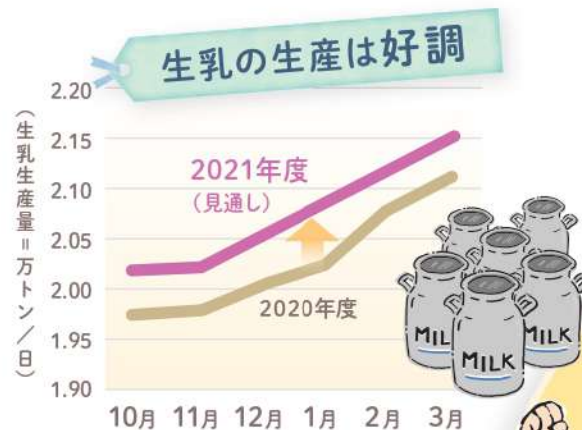


また、レストランなどでの
時短営業・客数抑制などで、
業務用需要も落ち込みから
立ち直れていません。



牛は生き物… 生乳の生産は増える

乳牛は、気温が低いとお乳の出が良くなります。
2021年は夏や秋に涼しかったこともあり、生乳
(しぼったまま未処理の乳) 生産量が増えています。
牛は生き物なので、生乳の生産量を短期的に増や
したり減らしたりするのは難しいのです。



クリスマス～お正月は 牛乳消費の“底”

年末年始は学校給食がなく、三が日には
一部のスーパーなども休みに。
もともと、一年のうちで、
最も消費が少ない時期です。



“生乳ロス” なくしたい

生乳を無駄にしないため、
さまざまな取り組みを進めます！

取り組み内容
は裏面に



抵抗力・代謝サポート！ 牛乳を「食べ」よう

牛乳を飲むだけでなく、「食べる」。料理に使ってみませんか。
例えば、水の代わりに牛乳を使った「ミルク鍋」。栄養バランスが良くなるほか、だし汁は飲み切れますので無駄がありません。また、Jミルクの定番人気レシピ「牛乳もち（ミルクもち）」もおすすめ。親子で作るのも楽しいですよ。
冬は、コロナに加えてかぜやインフルなどが気になる季節。たんぱく質は抵抗力・免疫をサポートします。牛乳はアミノ酸スコアが100の、良質な動物性たんぱく質を含む食品。また、寒いと家にこもりがちになりますが、牛乳は代謝を助けるビタミンB群も豊富です。



レシピは
こちら！

こちらも
チェック！



j-milk 一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)

牛乳もち



レシピは
こちら！



Milk Recipe ミルクレシピ

牛乳・乳製品を使ったおすすめ
レシピを公開しています！



業界挙げ 消費拡大運動

Jミルクの試算では12月下旬、生産される生乳の量が、全国の処理能力を一時的にオーバーする可能性があります。
それを防ごうと、酪農乳業界はこの年末年始、業界に関係する人すべてに呼び掛けて「#1日1L（リットル）」運動に初めて取り組みます。一人一人が自ら牛乳をいつもより多く購入して、正念場を乗り切ろうという企画です。

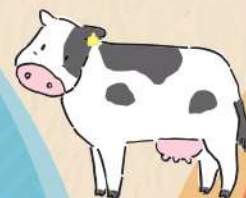
他にもこの冬、

- さまざまな製品で生乳使用率引き上げ
- 乳製品工場のフル稼働・貯乳能力のフル活用

といった取り組みを業界全体で進めています。



冬こそ牛乳で みんな元気に！



学校給食がない日、子どもの栄養バランスは要注意で、特にカルシウムが不足しがちという調査結果があります。育ち盛りの子どものためにカルシウムは大人以上に大切な栄養素。ぜひ牛乳で、栄養バランスをととのえてください。



給食のない日こそ、
子どもに牛乳を！

1日のカルシウム摂取量

